

富山市有機農業実施計画

1. 市区町村

富山市

2. 計画対象期間

令和 6年度 ～ 令和 10年度

3. 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標

ア 有機農業の現状

富山市では、これまで「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の実現を目指すなか、SDGsの理念と軌を一にする「環境未来都市」及び「環境モデル都市」として先行的に取り組み、2018年には「SDGs未来都市」に選定され、経済、社会、環境の3側面をつなぐ総合的なプロジェクトにより「持続可能な付加価値創造都市」を目指している。

その本市の農林水産業は、富山湾から標高 3,000m級の北アルプス立山連峰までの雄大な自然が育む豊かな水資源を活かし、水稲を中心とした多様な農産物が生産されているが、近年、農業従事者の高齢化や少子化の進行による後継者不足、耕作放棄地の増加、農産物価格の低迷による所得の伸び悩みに加え、中山間地域では有害鳥獣による被害が増加するなど様々な課題に直面している。

本市では、99.3ha(令和4年度末)で有機農業が実践されているが、その中で、本市を流れる神通川左岸の中山間地域である小羽地域とその対岸に位置する岩木地域では、2つの法人が有機JAS認証を取得しながら、有機農業に積極的に取り組み、生物多様性など環境の保全や雇用の創出など、本市における持続性のある農業のモデルとなっている。

また、市内のあおば農協管内では、有害鳥獣被害の少なさとその効能から中山間地域等で有機えごまの特産化を目指している。

しなしながら、市民からは、販売している店舗や有機栽培による環境保全の効果に対する情報が不足しているという声が聞かれ、その対応が課題となっている。

イ 5年後に目指す目標

本市の持続可能な農業のモデル的な取組みを市内外へ発信することにより、中山間地域等において、水稲を中心に園芸品目を含めた国際的な取組水準の有機農業等の普及拡大と、それ以外の地域における減農薬・減化学肥料栽培等の展開により、農業の側面から「持続可能な付加価値創造都市」の実現に寄与することを目指す(図1)。

また、国際的な取組水準の有機農業を推進する中で、特に米やえごまについては、海外輸出やより付加価値を向上させる手段として、有機JAS認証の取得を進める。

有機農業取組面積拡大 R4:99.3ha →R10: 130ha(+30.7ha)

有機JAS取組面積拡大 R4: 74.6ha →R10: 90ha(+15.4ha)
 米 74.6ha → 85ha(+10.4ha)
 えごま 0ha → 5ha(+5ha)

有機JAS取組み農業者の増加 R4: 5人→R10: 9人(+4人)
 米 5人→ 7人(+2人)
 えごま 0人→ 2人(+2人)

有機えごま販売数量(実換算) R4: 0kg→R10:1,500kg

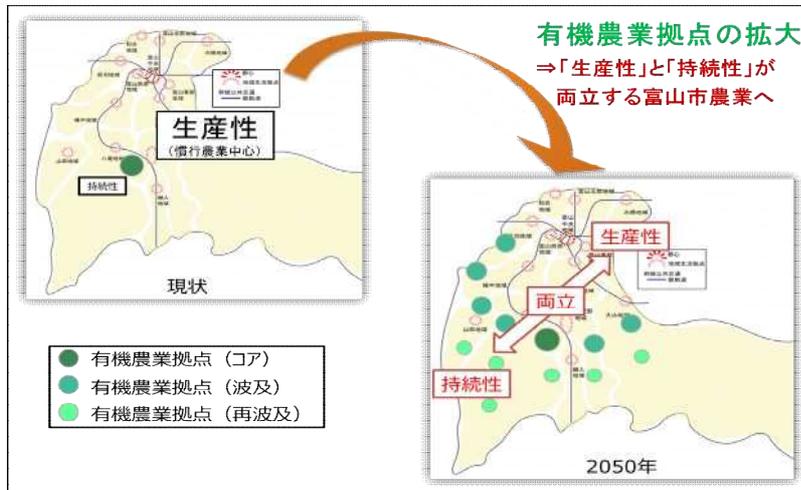


図1:推進イメージ

4. 取組内容

ア 有機農業の生産段階の推進の取組

①有機米・有機えごま栽培技術研修会等の開催

農業者が自由に見学可能なモデル経営体の有機農業展示ほの設置と、ほ場を管理する経営体を講師とする有機栽培技術研修会を開催し、慣行の農業経営体が新規に有機農業に取り組む際の不安軽減と取組の拡大を図る。

②有機農業への転換時の支援

新たに有機農業に取り組む農業者に対し、有機農業への転換に必要なほ場の土づくり等の経費に対し支援を行う。

③有機JAS認証取得勉強会の開催と取得経費への支援

有機JAS認定の意義や取得までの流れについて勉強会を開催し、中山間地域等で有機えごまの特産化を目指すあおば農協管内の農業者を中心に有機JAS認定取得に向けた機運の醸成を図るとともに、有機JAS認証の新規取得申請経費等について支援を行う。

④有機農業用機械等の導入支援

市内で有機農業を拡大するため、除草作業などの負担を軽減するために必要な、除草ロボ、アイガモロボ、乗用除草機等の導入に対し支援を行う。

⑤富山市CSA型サポート組織の検討

消費者に対し、有機農産物取扱店舗や有機栽培による環境保全効果等の情報発信を強化するため、農村部の地域づくりを行いながら人と大地の繋がりを大切に、豊かな自然を次の世代に引き継ぐことを理念とする地域一体型の有機農業推進サポート組織「(仮称)富山市有機の郷づくり応援隊」の設立について、有機農業の実践農家や慣行農業等を行う営農組合、農協及び消費者等を構成員とするワーキンググループを設置し、慣行農業や特別栽培から有機農業への転換を既存営農組織等に促しつつ、消費者と地域の交流を促進することにより、消費者参加のCSA (community supported agriculture) の取組みを試行し、CSA型サポート組織の検討を進めるとともに、有機・自然栽培等の多様な担い手の確保と掘り起こしを図る。

イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

①既存イベントへの有機農産物の出品

本市が行っているイベントにおいて市内産の有機農産物を出品し、市民に対し、本市の有機農産物取扱店の周知や有機農業の環境保全効果などの理解度の向上を図る。

②有機米等の学校給食利用

関係機関と連携し、有機米等の流通体制の構築を図るとともに、有機米等を学校給食において利用することで、子供たちやその保護者などに対し、資源の循環と命の繋がりにより持続可能なまちを育む有機農業の理解の促進を図る。

③「有機富山えごま」飲用市民モニター

健康に対する意識の高い市民等に対し有機栽培のえごま種子を用いた市内産えごま油を配布・飲用してもらい、有用性の体感により、リピーターを獲得し、需要の拡大を図る。

④加工品開発と海外輸出の検討

本市の特徴である美味しい水と有機酒米を用いた日本酒や有機米を用いたマスずし等について、市内加工事業者等と連携・開発し、新たな特産品の創出を図るとともに、海外への輸出について検討する。

<p>5. 取組の推進体制</p> <p>ア 実施体制図</p> <p>※実施に必要な組織、委託先等を記載すること</p> <p>別紙のとおり</p> <p>イ 関係者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山市 有機農業実施計画の実施に必要な事務及び農業者への支援 ・富山県 事業遂行への協力・アドバイス ・富山市有機農業推進協議会 有機農業実施計画の実現に必要な取り組みの検討・助言、計画の進捗管理 ・有機農業者 有機農業の生産拡大に係る取組の実施・有機農業転換希望者への指導等 ・農業協同組合 有機農産物の集出荷や有機農業等資源循環型農業の推進 ・流通業者 有機農産物の販売取扱、地域資源循環や環境保全に対する理解の向上と有機農業のPR ・富山市内の学校 学校給食へ有機農産物の導入によるSDGsや食農教育の推進 ・加工業者 有機農産物の取扱いや地域資源循環や環境保全に対する理解の向上と有機農業のPR、海外輸出の推進 ・消費者 有機えごまを原料とした市内産えごま油飲用体験による有機農産物の消費拡大 有機農産物の購入による持続可能なまちづくりに対する理解の向上、SDGsの実践
<p>6. 資金計画</p> <p>別紙のとおり</p>
<p>7. 本事業以外の関連事業の概要</p> <p>①有機転換推進事業:新たに有機農業に取り組む農業者の初年度に必要な土づくり資材等への支援 ②有機JAS認証取得支援事業:有機JAS認証の取得に必要な経費に対する支援 ③みらい農業推進事業:有機農業に必要な農業用機械の導入支援</p>
<p>8. みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について</p> <p>※基本計画と本実施計画との関連性等必要に応じて記載すること</p> <p>有機農業に先進的に取り組まれている、神通川左岸の富山市小羽(こば)地域と、対岸の岩木(いわき)地域を特定区域に設定する。</p>
<p>9. その他(達成状況の評価、取組の周知等)</p>

実施体制

有機農業者 その他の経営体

- ・イベントへの出品
- ・計画推進段階での参画

有機農業者 小羽・岩木地域

- ・有機栽培実践普及活動

講師

日本えごまの会
有機農業団体

- ・有機えごま栽培指導
- ・有機農業技術指導
- ・有機JAS認証取得

協議会委員

協力

流通関係

(株)富山中央青果

- ・学校給食利用促進
- ・有機農産物販売促進

異業種

酒造メーカーなど

- ・有機酒米を使った日本酒など

学校給食関係団体

富山市学校給食会

- ・学校給食利用促進

健康づくり 体育協会

- ・「富山えごま」消費推進

富山市 関係部局 教育委員会 環境部

- ・学校給食利用
- ・SDGs環境未来都市推進

事務局

富山市農業水産課

- ・事業実施運営管理
- ・関係機関等との調整
- ・検討会の開催(3回)

学識経験者

大学教授

- ・計画推進協力

有機栽培用機械 農機メーカー

- ・機械デモンストレーション

生産者関係

あおば農協
富山市農協
なのはな農協

- ・栽培拡大支援
- ・産地づくり支援
- ・有機農産物販売促進

アドバイザー

富山県農林振興センター
富山県農業技術課

富山市有機農業推進協議会



6. 資金計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
区分	<p>1. 生産段階 栽培技術研修会 有機転換支援 有機JAS認証取得勉強会 有機農業機械導入支援 サポート組織検討</p> <p>2. 流通、加工、消費等 イベント出店 学校給食利用 飲用市民モニター 加工品開発検討</p> <p>10,899 千円</p>	<p>1. 生産段階 栽培技術研修会 有機転換支援 有機JAS認証取得勉強会 有機農業機械導入支援 サポート組織検討</p> <p>2. 流通、加工、消費等 イベント出店 学校給食利用 飲用市民モニター 加工品開発検討</p> <p>8,000 千円※</p> <p>※ 進捗により見直す</p>	<p>1. 生産段階 栽培技術研修会 有機転換支援 有機JAS認証取得勉強会 有機農業機械導入支援 サポート組織検討</p> <p>2. 流通、加工、消費等 イベント出店 学校給食利用 飲用市民モニター 加工品開発検討</p> <p>8,000 千円※</p> <p>※ 進捗により見直す</p>	<p>1. 生産段階 栽培技術研修会 有機転換支援 有機JAS認証取得勉強会 有機農業機械導入支援 サポート組織検討</p> <p>2. 流通、加工、消費等 イベント出店 学校給食利用 飲用市民モニター 加工品開発検討</p> <p>8,000 千円※</p> <p>※ 進捗により見直す</p>	<p>1. 生産段階 栽培技術研修会 有機転換支援 有機JAS認証取得勉強会 有機農業機械導入支援 サポート組織設立</p> <p>2. 流通、加工、消費等 イベント出店 学校給食利用 飲用市民モニター 加工品販売</p> <p>8,000 千円※</p> <p>※ 進捗により見直す</p>